

平成24年度第2回天童市教育委員会について（報告）

日 時 平成24年 5月22日（火） 午前10時
場 所 教育委員会 第一会議室

< 議 事 >

議第5号 平成24年度教育委員会所管6月補正予算(第2号)について

<可決する>

市立公民館分館施設の耐震診断経費及び耐震補強工事を「天童市公民館整備補助金交付規程」の補助メニューに追加し、今年度で実施を希望する分館の予算化を行うもの。また、平成24年4月4日に発生した強風により、西沼田遺跡公園に被害が生じたことから、被害の復旧経費を予算化するもの。

審議経過

委 員：今年度、耐震工事を希望している1分館はどこですか。

事務局：天童中部公民館の分館で、糠塚分館です。事業費としては150万円になります。当初予算になかったのですが、本年3月の市議会の提案を受けて、耐震化工事を速やかに行うもので、各分館へ事業の実施希望調査を行い、補助申請を行いたいとの回答を得た分館について予算化するものです。

耐震工事の補助率は1/2で、耐震診断については1/3の補助率です。

議第6号 天童市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

<可決する>

委員 15人 任期：平成25年3月31日まで

審議経過

委 員：運営委員会は、1年間で何回開催されますか。

事務局：春と冬の年2回開催します。

委 員：昨年度、運営委員会の中では、どういうことが多く議論されていますか。

事務局：食材に対する放射能の影響、地産地消、アレルギーの問題についてなどが話題になっております。

議第7号 天童市立図書館運営協議会設置規程の一部改正について

<可決する>

天童市立図書館運営協議会設置規程が天童市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則及び天童市立図書館資料選定会議設置規程の規定と一部重複する部分があるため、当該部分に係る整理を行うとともに、字句の整理を行うもの。

審議経過

委 員：図書の選定は、選定会議で行うと思いますが、どのようなメンバーで構成されていますか。

事務局：図書選定会議につきましては、教育委員会関係者及び市立図書館関係者で構成されています。

議第 8 号 天童市立図書館運営協議委員の委嘱について

＜可決する＞

委員 10人 任期：平成26年3月31日まで

審議経過

委員：節電に関して、図書館などの公共施設を大いに利用しましょうという話がありますか。

事務局：節電を考慮し、図書館で勉強をしましょうということであると思います。児童、生徒の勉強をするスペースを公共施設の中に開放していただきたいという要望は出ております。

委員：図書館に勉強するスペースはないのですか。

事務局：図書館には勉強専用のスペースはありませんが、夏休み期間中に会議室を開放しています。会議室の利用率が高いので、年間を通しての解放は、なかなか難しいと思います。

委員：一般の人たちが図書館を勉強に使用して、子供たちのスペースがないということで、勉強をするスペースを開放していただきたいという要望は出ているのは確かです。図書館は勉強には環境が良いし、能率が上がるということで、勉強をするスペースを開放してほしいということだと思います。

図書館運営協議委員について、委員は10人なのですが、委員の定員はあるのですか。

事務局：図書館運営協議委員については、条例施行規則で定員を10人に定めております。

＜ 協議事項 ＞

(1) 「教育の日」の制定について

事務局：「教育の日」について再度提案いたします。宮城浩蔵賞を生涯学習フェスティバルの席上で表彰を行うとともに、明治大学の学長の講演、教育功労表彰を予定しています。

「教育月間」については、特に設けないこととしました。

委員：市民の参加を促す事業として、教育関連行事は、いくつかありますが、今後どのように取り組んでいくのでしょうか。

事務局：前もって「教育の日」をPRすることによって、様々な教育活動にも目を向けていただきます。今年度に限らず、教育関連行事に参加していただくようPRをしていきたいと思います。

委員：これまでの生涯学習フェスティバルでは、どういうものを行っていたのですか。

事務局：生涯学習フェスティバルは、市内の社会教育事業に御尽力された方々の個人・団体の表彰、研究発表として地域づくり委員会の活動成果の発表、市民への学習の場ということで、講演会の開催などを行ってきました。

発表と講演については、毎年交互に行ってきました。また、参加対象者は、従来、社会教育関係者でした。

委員：天童市公民館大会、地域づくり研究会が生涯学習フェスティバルに変わったのでしょうか。

事務局：生涯学習フェスティバルというのは、市全域を対象と捉えて、公民館ごとに開催するフェスティバルや公民館大会を生涯学習フェスティバルとしています。

生涯学習フェスティバルに「教育の日」が加わり、より多くの層の人が参加することになり、より効果的であると思います。

委員：私は、これまで、公民館フェスティバルに参加させていただいてありますが、生涯学習フェスティバルとして、公民館活動だけでなく、学校教育も一緒になることはいいことであると思います。

宮城浩蔵賞についても、受賞者や家族しか分からない状況であったので、どうして天童に宮城浩蔵賞があるのかを周知するのにいい機会であると思います。

明治大学の学長さんが来られて講演をされるのは、宮城浩蔵賞に光を当てていただくことになるのではないのでしょうか。

委員：生涯学習フェスティバルの開催時間帯をいつにするか、会場をどこにするかが課題であると思います。

これまで、社会教育関係者が参加されていたが、学校関係者、子供たちから来てもらうこと、来てもらうことによってアピールできることが大きなポイントであると思います。子供たちが来やすい時間帯について、日中であれば、スポーツ少年団の大会等もあると思いますので、時間帯を考えて設定しなければならないと思います。

また、会場についてもパルテで良いのか、市民文化会館の方が良いのかも検討が必要であると思います。

事務局：明治大学の学長さんの講演もありますので、あくまで原案であります。1時から表彰、宮城浩蔵賞受賞者のスピーチ、2時から講演で、4時終了の予定です。会場は、市民プラザが350人の定員であり、教育関係者にも案内すると350人名くらいになり、会場としては十分かと思います。

市民プラザで教育功労賞授賞式に宮城浩蔵賞を埋め込むのではなく、プラス授賞式ができないかと思います。

委員：「教育の日」の制定について、経費の予算はどう考えているのか。新たに予算を要求するのでしょうか。

事務局：予算としては、今年度は生涯学習フェスティバルと明治大学の公開講座と合わせての既決予算で対応することになります。

なお、明治大学の学長は、本市との社会連携協定締結時に担当の副学長であり、今年4月に新学長に就任なされました。宮城浩蔵賞にも思い入れが強い学長であり、就任記念にぜひ招へいできればと思っています。

委員：天童は、社会教育や地域づくりも盛んであり、これを踏まえての「教育の日」の制定については、他の市町村にはないものであり、天童らしい教育の捉え方をされていて、大変良いものであると思いました。ぜひ、この先もうまく進めていただきたいと思います。

委員：先ほど、参集者数350人とお聞きしましたが、明治大学同窓会関係者も参加したいと申し出る可能性もあるので、含めて考えていたほうが良いと思います。

事務局：明治大学の同窓会である校友会にも参加していただけるよう案内したいと思います。

委員：宮城浩蔵賞受賞者のスピーチは良いですね。ぜひ中学生の皆さんに聞かせたいと思いますね。

委員：市民プラザでは、これまでいろいろな行事で使用したが、350人まではなかなか集まらなかったようです。

事務局：以前は、各団体へ動員を要請して開催していました。現在は、各団体の自主参加に切り替えて参加していただいております。

委員：子供たちの表彰に係るものがあるということ、保護者とか多くの関係者の方が参加するようになると思います

（２）その他 学校通学路の安全確保について

委員：先般の京都市内の通学路の痛ましい事故が発生しました。天童市内でも事故が起きない保障はないと思います。

現在の子供たちの通学路において、あのような車が来た場合、防御ができる施設が完備しているだろうか懸念されるところです。

できるだけ、子供たちが安心して安全に通学できるようにすることは、教育委員会として重要な命題であり、市としても、市民が安全を確保できるような道路であるべきだろうと思います。

現在の教育委員会が担当する学校の通学路がどの程度安全なのか、各学校でも調査・対応はしていると思うが、教育委員会として、その状況を把握して、改善できるように御尽力いただければ有難いと思います。

事務局：委員からありました通学路については、これまでも、警察、関係機関と連絡を取り合っております。昨日、警察から連絡あり、6月早々に、警察、安全協会、教育委員会、保護者などの関係者で、通学路の危険箇所をもう一度総点検しましょうということになり、早急に対応したいと思います。

神奈川県でも通学路をグレードアップしてやっている事例もありますので、状況を調査し、基本的には、道路の安全確保が最優先でありますので、通学路として一番適切な道路を指定したいと思います。しかし、指定したからこれでよいことではなく、常に危機感を持つことが大切だと考えております。

委員：これまで、教育委員会から学校に対して、通学路について指導したことはありますか。

事務局：各学校へは、4月に新しい児童が入りますので、3月末の時点で通学路の点検を指示しています。

委員：先生方に話していただきたいことですが、歩道のある道路でも、縁石を歩く児童が見受けられるので、転んで道路に出たら、と心配になることがあります。家庭の問題でもあるが、縁石は遊ぶところではないことをPTA 総会や学校、家庭でも機会を捉えて話をしてほしい

いと思います。

先日、保護者の方と話し合いの機会があり、縁石で道路と歩道を分離するより、赤いポールの設置をしてはどうかとの話が出たところです。

事務局： ただいまのポールの設置については、保護者の方から、いつも問題となっている道満街道のトンネル内に倒れても安全なポールを設置してはどうかとの話しが出ておりました。警察では、ポールを設置することにより、車と車の接触事故が発生しやすくなり、設置するまでには至っていないとの話でした。

場所によって、クリアしていかなければならない様々な問題がございます。

委員： 道満街道のトンネルについては、毎年、天童北部地区のまちづくり懇談会で、道路拡張をして歩道を整備してほしいとの話が出ます。

あの箇所を迂回するような通学路を整備してほしいと思います。

委員： この度の通学路を点検するのに、大体何日間ぐらいかかりますか。

事務局： 通学路の点検については、市内全地区ではなく、北部地区の危険箇所、数箇所ということで連絡を受けております。

委員： 通学路の点検はこれまでも行ってきたと思いますが、ぜひ必要なことでありますので、関係団体と連携をとって、よろしく願いしたいと思います。